



寒さも少しずつ厳しくなり、本格的な冬の訪れを感じる頃となりました。子どもたちは、室内の飾り作りや歌を歌い、クリスマスを心待ちにしているようです。

今年は、コロナウイルスだけではなく、インフルエンザも流行するといわれています。この季節は感染症が流行する時期です。手洗いやうがいなど基本的な感染症対策を行い、元気に過ごしましょう。



### こころの日保育目標

辛いことでも我慢して頑張ろう

## 保育目標

5歳児（正・道）

- 一日の生活の中で、自分なりに見通しを持って取り組む。

4歳児（和・敬）

- 冬の行事や遊びを楽しむ。

3歳児（友・愛）

- 冬の生活の仕方がわかり、身の回りのことを自分から進んでしようとする。

2歳児（善・心・健・育）

- 生活リズムが整い、身の回りの簡単なことが身に付く。

1歳児（清・明・光・輝）

- 身の回りのことに興味を持ち、自分でしようとする。

0歳児（純・真）

- 発達や興味に合わせて、体を動かす遊びを十分に楽しむ。



学園だより

# 光の子

第597号

令和4年12月1日

光明第一保育園

<https://www.koumyou1.net>



## 今月の行事予定

- |                                       |                            |
|---------------------------------------|----------------------------|
| 1日（木）こころの日・年末助け合い運動<br>身体測定（太陽・月・健・育） | 16日（金）誕生会<br>内科健診（0歳児・1歳児） |
| 2日（金）身体測定（大地・星・善・心）                   | 20日（火）体操教室（太陽）             |
| 5日（月）身体測定（0・1歳児）                      | 22日（木）冬至                   |
| 6日（火）ゆうぎかい写真撮り                        | 23日（金）クリスマス会               |
| 7日（水）ゆうぎかい写真撮り                        | 29日（木）年末保育（～31日）           |
| 10日（土）ひかりの子どもゆうぎかい                    | 31日（土）大晦日                  |
| 13日（火）体操教室（大地）                        |                            |
| 14日（水）もちつき                            | ※避難訓練・不審者対応訓練は予告なしで実施します。  |



### ひかりの子どもゆうぎかい

12月10日（土）は「ひかりの子どもゆうぎかい」です。子ども達の好きな絵本やお話を劇や遊戯で楽しく表現します。当日は緊張してしまう子もいるかもしれませんが、どうぞ温かい拍手をお願いします。

※詳細は、先日配布致しましたお知らせ等でご確認ください。

日時：令和4年12月10日（土）8時50分～16時00分頃  
（クラス毎入れ替え）

場所：光明地下ホール



### 成道会

12月8日は、成道会です。お釈迦様が悟りを開いたとされる12月8日に各寺院で行われる法会の事のこと、成道とは菩薩が修行の末、悟りを開いて仏となるという意味です。保育園では、子どもたちに分かりやすいように話をしていきお悟りの日をみんなでお祝いしたいと思います。



## 冬至



冬至とは、一年でいちばん昼が短く夜が長い日です。太陽の力がもっとも弱まる日といわれ、それに伴って人の魂も弱まると考えられていました。この日に、ビタミン等栄養豊富な かぼちゃを食べる習慣があり、「冬至かぼちゃ」と呼びます。又、ゆずを浮かべたお風呂「ゆず湯」に入ると風邪を引かないといわれています。

## 大掃除



年末の大掃除は、色々な物を綺麗にするだけでなく、新年に年神様を迎えるための大事な準備の意味も含まれています。保育園でも、日頃使っていた玩具や道具などを皆で掃除をします。



## もちつき

稲は古くから神聖なものとして考えられてきました。稲からとれるお米は生命力が強いとされ、お米をついて固めたお餅は、その力が特に強く、祝い事や特別な日にもちつきが行われてきました。園でのもちつきでは、子ども達が「よいしょ！」の掛け声と共に、杵でお餅をついたり、正月の鏡餅を用意したりして、日本の伝統に触れます。

## ひなたぼっこ

5歳児数名が、カプラをして遊んでいました。その側を通った3歳児が、高く積み上がっていた作品にぶつかってしまいました。その瞬間に「どうしよう」と、少し困った表情を浮かべると、5歳児の子が、「大丈夫」「また作ればいいよ」と、優しく声を掛けました。その瞬間、互いに笑顔になりました。5歳児の優しさに思わず笑みがこぼれました。